

《半田運河を核とした「ファンだ市民」倍増プロジェクト》

(総合戦略 基本目標1、基本目標2、基本目標3)

<p>事業概要</p>	<p>本市の歴史・文化が感じられる半田運河を皆の誇りとなり得るコンテンツにするため、半田運河を含めた中心市街地が市内外の人にとって“日常的に足を運ぶ場所”となるよう、来訪者や関係者の増加策と中心市街地の活性化推進策を並行して行い、その相乗効果により、関係人口(“ファンだ市民”)の創出・増加を図り、地域内外の消費の増加や移住・定住の予備軍となる裾野を広げていく。</p>
<p>交付対象事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■基本目標1-施策I-③             <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地まちづくり支援事業【経済課】 コロナ禍による外出自粛が事業主の売上確保に打撃を与える中、より身近な地域住民や、広くオンライン上でのファン獲得を目指し、愛知県げんき商店街推進事業費補助金を活用した企画やWEBページの構築を行い、商店街の活力の醸成や販促支援につなげた(2020年度実績:オンライン商店街の構築)。</li> <li>・商業施設助成事業【経済課】 空き店舗への出店の改装費補助について、中心市街地への補助の比重を増加させた結果、新たな出店に繋げることができた(2020年度実績:6件)。</li> </ul> </li> <li>■基本目標2-I-①             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと新発見事業(成岩地区)【企画課】 これまでに制作した「ならわまち歩きマップ」や「てらまちガイドブック」を活用し、スタンプラリーやまち歩きイベントを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を断念した。令和3年度以降も感染症の影響が続くことが見込まれるため、新しい生活様式に対応した事業案を検討し、地区内の寺院の住職を集め意見交換会を実施し情報共有を図った。</li> <li>・観光振興事業(観光客受入整備等事業)【観光課】 Wi-Fi環境の整備や「半田めぐりんMAP(めぐりんチケット)」、「すしぼん」によるすし店を巡るキャンペーンを実施した。</li> <li>・半田運河活性化推進事業【観光課】 「半田運河HOTORI brunch」の開催や名古屋市内のイベント「なやばし夜イチ」へのPR出展、半田運河の魅力をインパクトのある大きなサイズの写真と歴史ストーリーで伝える、タブロイド判の広報誌の作成により、半田運河の認知度とイメージの向上を図った。</li> </ul> </li> <li>■基本目標2-I-③             <ul style="list-style-type: none"> <li>・半田運河活性化推進事業【観光課】 コロナ禍において、予定していたイベントの多くが中止となる中、「半田運河HOTORI brunch」は2回実施し、可能な限りの交流人口(来場者)・関係人口(出店者)の増加に取り組むことができた。</li> </ul> </li> <li>■基本目標2-II-①             <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光振興事業(情報発信事業)【観光課】 多言語情報発信アプリ「Catalog Pocket(カタポケ)」に半田市観光ガイドを掲載し、多言語による情報発信を行った。</li> </ul> </li> <li>■基本目標2-II-③             <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光振興事業(情報発信事業)【観光課】 すしや知多牛をテーマにした観光PR動画の作成・オンライン配信、Googleストリートビューの活用、SNSのハッシュタグキャンペーン、観光PRホームページの拡充等、デジタルによる積極的な発信により、観光PRを図ることができた。</li> </ul> </li> <li>■基本目標3-III-②             <ul style="list-style-type: none"> <li>・シティプロモーション推進事業【企画課】 専用サイトによる情報発信や市民ライターによるまちの魅力発信、鉄道のポスター広告などの取組を実施し、露出を高めた結果、インスタグラムのフォロワー数増加につながった。また、コロナ禍において、新たに結婚応援給付金を創設し、結婚式等の延期や中止によりキャンセル料等の費用負担が生じた夫婦への給付を行い、市への愛着醸成に資することができた。</li> </ul> </li> </ul>
<p>事業費(実績額)</p>	<p>23,426,598円(11,713,299円) ※交付率1/2</p>

## 地方創生推進交付金 令和2年度事業評価表

### 交付金対象事業の当初値と実績値等

No.	指標	平成30年度 当初値	令和元年度 実績値(目標値)	令和2年度 実績値(目標値)	令和3年度 目標値
①	半田運河周辺の観光入込客数	364千人	399千人 (430千人)	116千人 (443千人)	456千人
②	HOTORIプロジェクト参加事業者数	0事業者	230事業者 (330事業者)	42事業者 (340事業者)	350事業者
③	ふるさと半田応援団員数	61人	52人 (81人)	52人 (101人)	121人
④	半田赤レンガ建物来館者の市内消費額 (飲食費及びお土産代)	1,956,000千円	2,701,000千円 (2,000,000千円)	21,501千円 (2,250,000千円)	2,496,000千円

### 有識者による効果検証

外部組織による本事業の評価	①
---------------	---

選択肢  
(2択)

- ① 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった
- ② 地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない